

氷川神社
社報 第十二号

武蔵一宮



年頭にあたり

令和二年庚子かのえねの年頭にあたり、謹んで聖寿の万歳と御皇室の弥栄、国家の隆昌をお祈り申し上げますとともに、自然災害等で被災された皆様には一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

昨秋は天皇陛下の御大礼の諸祭事が執り行われ、当社でも十月二十二日に即位礼当日祭、十一月十二日に臨時大祓、十一月十五日に大嘗祭当日祭を斎行し、大嘗祭当日祭に際しては天皇陛下より幣帛料の奉献がございました。また、各奉祝行事が賑々しく執り行われました。

さて、いよいよ七月二十二日より東京オリンピックが開催致します。埼玉県では七月七日から九日まで聖火リレーが行われる予定で、さいたま市はアンカーとして氷川神社御神前より参道を通り、ゴール地点であるさいたま新都心公園に運ばれ、最終地となる東京都に聖火を引き継ぎます。

そして、本年は日本書紀編纂から一三〇〇年、明治天皇がお定めになられた教育勅語発布から百三十年の節目でもございます。神代の時代から連綿とつながる我が国の歴史に改めて思いを致し、また教育勅語に示された「孝行、友愛、夫婦愛、朋友の信、公益世務、遵法、義勇」などの徳目を今一度再確認する時機でもございます。

氷川神社の大神様の御神徳により皆様にとりまして新玉の年が平穏で幸多き年となりますようお願い申し上げます。



即位礼当日祭



臨時大祓



大嘗祭当日祭



萬歳楽

御即位奉祝行事

観月雅楽演奏会

十三夜の十月十一日に行われた氷川雅楽会による第三十回観月雅楽演奏会では、古来より天皇の萬歳千秋を祈り、即位礼にも用いられる萬歳楽まんざいらくが奉奏されました。台風十九号接近による雨天の為、祈禱殿での演奏会となりましたが、萬歳楽の他、人長の舞にんぢょう、豊采の舞とよさか、浦安の舞うらやす、胡蝶などが奉奏されました。

御即位奉祝行事

献灯



万歳三唱



楼門の奉祝提灯



楼門前



神橋からの車誠い所前の提灯

今般、募集した献灯(九月末日締切)は、約八百張の御奉納を頂き、即位礼当日祭の十月二十二日から大神様の御前を賑々しく照らしております。点灯式、国歌君が代の斉唱の後、大野総代会長の先導で万歳三唱が行われました。

献灯者芳名

(五灯以上、敬称略、順不同)

- (株)マスセイ
- (株)木下製館
- ヤナセ矯正歯科
- (株)鯉平
- 埼玉県酒造組合
- (株)TOCCHI
- (株)佐伯工務店安全衛生委員会
- 吾妻工業(株)
- 毎日興業(株)
- (株)アルシエ
- (有)久世造花工藝
- ヒラタホーム
- (有)大宮駐車場
- 達輝施工管理(株)
- (株)佐志
- 大宮鷺職組合
- 大宮若鷺会
- 大宮アルデイージャ
- (株)神明興産
- (株)ヨコハウス
- (株)八洲電業社
- (株)シンエイ
- (株)深谷組
- (株)小山本家酒造
- 片倉工業(株)コクーンシティ
- (株)松永建設
- (株)ルミネ大宮店
- 埼玉自動車交通(株)
- (株)そごう・西武そごう大宮店
- (株)埼玉りそな銀行
- (株)武蔵野銀行
- 櫻花同志會
- (株)サンクスワン
- (株)埼玉県魚市場
- アパホテルさいたま新都心駅北
- (株)高島屋大宮店
- はながい眼科
- (株)橋本昭司記念駐車場
- (株)親和商事
- (株)電成社
- 国律心会なみこし歯科医院
- オリエンタル火工(株)
- (有)ウスクラコーポレーション
- (株)ジェイコム埼玉・東日本
- 埼玉縣信用金庫
- (株)清水興業
- 加茂神社
- 清水園
- 大野隆司
- 中神健一
- 新藤享弘
- 内田聖
- 須田美和子
- 金子治男
- 岡村秀俊
- 深井 明

御即位奉祝行事

武蔵菊花会菊花展

本年で七十回目を迎えた武蔵菊花会による菊花展では、十一月一日から十五日まで十六枚花弁の菊花、大作りや懸崖、盆養、ダルマなど約五百鉢の菊花が展示されました。

氷川神社司賞七点(敬称略)

- 一、「南陽の黄妙」 茂呂尚佑
- 一、「太平銀月」 吉田勝美
- 一、「太平銀峰」 佐藤昭次
- 一、「国家万舞」 上野忠士
- 一、「国家八十巨」 籠島忠弘
- 一、「聖光大芳」 川鍋辰雄
- 一、「多摩の景勝」 鈴木 旭



大宮華道連盟献華展

十一月十七日、十八日と大宮華道連盟の献華展が行われました。献華を頂いた先生(敬称略)
新桂古流いけ花

草月流

- 嶋野薫華、伊坂真苑、
- 齊藤華朝、吉森千成華、
- 梶原美遊
- 松野朱世、福居朱季、
- 冲山草俊、竹下尚峰、
- 池田朱葉、高山幸華、
- 難波智華
- 池坊明流
- 小澁恭園、星野明歩
- 細田好草、柄澤華陽、
- 小林華侑、高橋典花
- 桂古流

- 池坊 菅原静月、原 公華
- 小原流 新妻良華、榎本豊彩
- 春草流 西島春溪、菅原春粹
- 龍生派 小泉秀光、池田和光
- 古流松藤会 藤井理正、岩波理豊
- 正風流一光会 桐生一光、桐生一研、
- 河野一幸、石川一豊、
- 長堀一清

- 桂古流桂派 岩井蘭香
- 古流松東会 清水理秀
- 日本古流 加藤一紀、山田一瑛
- 嵯峨御流 町田裕甫、川村照甫
- 遠洲流 守屋一陽、守屋一雀
- 古流かたばみ会 小原理晴



草月流 長内恵「令和の恵」

展示期間
12/9~12/15



御即位奉祝行事

埼玉県伝統武術奉納演武

十月二十日午前十時、正式参拝の後、埼玉県伝統武術連盟柴田孝一代表他会員による剣術、柔術、居合術、薙刀術、鎖術等十四流派の伝統武術の奉納演武が行われました。



居合兵法阿字会奉納演武

十一月二十四日午前十時、正式参拝の後、無双直伝英信流居合兵法阿字会井本忠昭阿司齋他会員の居合道の奉納演武がございました。

御即位奉祝行事

御神酒奉納

埼玉県酒造組合及び県内酒造会社よりお酒の奉納を頂きました。



無外流日心会奉納演武

十二月十四日午後一時半、正式参拝の後、舞殿にて無外流日心会松澤功雲会長他会員による奉納演武が行われました。



今般奉納の名酒銘柄

- (下段左より) 天仁 <(株)横関酒造店> 柗川 <川端酒造(株)> 日本橋 <横田酒造(株)>
 晴菊 <(株)東亜酒造> 力士 <(株)釜屋> 清龍 <清龍酒造(株)> 初緑 <石井酒造(株)>
 武蔵鶴 <武蔵鶴酒造(株)> 豊泉 <関口酒造(株)> 鏡山 <小江戸鏡山酒造(株)>
 直実 <権田酒造(株)> 越生梅林 <(有)佐藤酒造店> 旭正宗 <内木酒造(株)>
- (上段左より) 九重桜 <大瀧酒造(株)> 金紋世界鷹 <(株)小山本家酒造> 文楽 <北西酒造(株)>
 琵琶のささ浪 <麻原酒造(株)> 高麗王 <長澤酒造(株)> 天覧山 <五十嵐酒造(株)>
 晴雲 <晴雲酒造(株)> 帝松 <松岡醸造(株)> 武甲正宗 <武甲酒造(株)>
 秩父小次郎 <(株)タイセイ秩父菊水酒造所> 東白菊 <(有)藤橋藤三郎商店>
 菊泉 <滝澤酒造(株)> 金大星正宗 <丸山酒造(株)> 長瀬 <(株)藤崎惣兵衛商店>

祭事曆

当社では毎日の日供祭をはじめ年間約七十の祭典を行い、謹んで御皇室の弥栄と国家安泰、五穀豊穡と氏子崇敬者の繁栄を祈願しております。

- 十月一日 月次祭
- 九日 抜穂神事
- 十五日 献詠祭(兼題 酒)
- 十七日 神嘗奉祝祭
- 二十一日 朔瓶祭
- 二十二日 即位礼当日祭
- 十一月一日 月次祭
- 三日 明治祭
- 十二日 臨時大祓
- 十五日 大嘗祭当日祭
- 献詠祭(兼題 大嘗祭)
- 二十三日 敬神講社祭
- 三十日 大湯祭前齋
- 十二月九日 大湯祭本祭
- 十日 大湯祭後齋併せ誓詔祭
- 十一日 饗膳式
- 十五日 献詠祭(兼題 百味膳)
- 三十一日 大祓式
- 除夜祭



朔瓶祭神饌



抜穂神事神饌



犬湯祭本祭



敬神講社祭



大祓式



饗膳式

社頭往来

戦艦武蔵顕彰祭



十月二十四日午後二時、戦艦武蔵顕彰祭を、戦艦武蔵顕彰会会長新藤亨弘氏を始め約三十名参列のもと執り行い、また菅野泰之氏に「戦艦武蔵」の絵画を奉納頂きました。

稻荷神社鳥居奉納奉告祭

十一月一日午前十一時、稻荷神社にて今般鳥居の奉納を頂きました株式会社エバンス様参列のもと、奉納奉告祭を執り行いました。



七五三



敬神婦人会国旗小旗作り

子供の成長を感謝しお祝いをする七五三詣に本年も約一万組がお参りされました。皆様の健やかなる成長を祈念致します。
十一月十九日、敬神婦人会の会員約八十名により国旗の小旗作りが行われました。作成された二千本の小旗は一般財団法人日本文化興隆財団に送られ、皇居での新年一般参賀等に使用されます。



酒造組合祈願祭

十二月二日午前十一時、境内の松尾神社御前にて酒造組合祈願祭が埼玉県酒造組合会長の(株)小山本家酒造代表取締役会長小山景市様、(株)小山本家酒造取締役理事社長小松崎功様、大瀧酒造(株)大瀧榮壽様、北西酒造(株)代表取締役社長北西隆一郎様参列のもと執り行われました。



神宮大麻頒布式

十二月四日午前十一時、社務所にて神宮大麻頒布式が執り行

われ、大野氏子総代会長に本年の伊勢の神宮の神札が授与されました。



正月助勤説明会

十二月八日、二十二日、令和二年正月に御奉仕頂く助勤者へ



の説明会を実施致しました。初詣の参拝者が快く一年を過ごせるよう心得や神札、御守の説明を行いました。

十日市



特別紙朱印

大湯祭は十一月三十日から

十二月十一日まで十二日間に亘る祭典で、十日の本祭にあわせて西の市が立つ為、十日市ともいいます。本年の人出は約二十万人でした。

さいたま市職場体験

さいたま市中学生職場体験事業「未来くるワーク体験」で十二月十日から十二日まで与野東中学校の生徒三名を受け入れました。



最終日 豊栄の舞

ひょうたん池清掃及び 浄化実験調査

十二月十三日、日本パイ技術総合研究所によるひょうたん池の清掃及び浄化実験調査を致しました。今後、夏場のアオコの発生や匂いを軽減する為、神池での工事を検討する予定です。



武蔵菊花会表彰式

十二月十四日、社務所小ホールにて武蔵菊花会の第七十回菊花展の表彰式が行われました。氷川神社宮司賞の他、経済産業大臣賞や埼玉県知事賞等、多くの賞が授与されました。山下公園に係留される氷川丸でも菊花の展示を行っております事か

ら、氷川丸賞のプレゼンターとして金谷範夫船長に来社頂きました。



すす払い

十二月十五日、献詠祭終了後本殿、拜殿、楼門のすす払いが行われました。



クラーク記念国際高等学校職場体験

十二月十七日から十八日までクラーク記念国際高等学校の女子生徒四名の職場体験を受け入れ、神札所にて神札や御守の授与を御奉仕頂きました。



五色百人一首大会

十二月二十二日、社務所にて



書元会廻廊展示

十二月三十一日より一月五日まで書元会による書道三一五点の廻廊展示が行われました。小学三年生から中学三年生までの会員の作品で今回は「さくら」、「えと川」、「語り合い」、「世界の友」、「令和の春」、「万葉の歌」、「平和の祭典」が題となりました。



十月の奉納献華



古流松藤会	岩波理豊	草月流	竹下尚峰
池坊	草谷智花	正風流一光会	桐生一光
草月流	沖山草俊	春草流	栗原春彩
桂古流	小林華侑		
桂古流	高橋典花		

敬神婦人会湯茶接遇



十月一日、十五日、二十一日
十一月一日、十五日

十一月の奉納献華



古流松藤会	岩波理豊	草月流	沖山草俊
池坊	草谷智花	桂古流	小林華侑
		桂古流	高橋典花
		草月流	竹下尚峰
		正風流一光会	桐生一光

参道清掃奉仕御礼

参道の清掃活動を頂きました皆様
の芳名を紹介し、謹んで御篤志に感謝
申し上げます。参道清掃のお申し出、お
問い合わせは社務所までお願い致しま
す。(五十音順、敬称略)

- 阿含宗埼玉道場
- 大宮明るい社会づくりの会
- 高鼻二丁目友の会
- 大和ハウスリフォーム株式会社
- パーソルテンプスタッフ株式会社(さいたま市ジョブアシスト事業)
- 氷川螢の会
- ポイスカウトさいたま1団
- みずほ証券株式会社
- 武蔵コーポレーション株式会社

十二月の奉納献華



古流松藤会	岩波理豊	草月流	竹下尚峰
草月流	沖山草俊	正風流一光会	桐生一光
古流松藤会	川嶋理智	桂古流	高橋典花
桂古流	小林華侑		

氷川ほたるの会様

正式参拝及び諸会議

(敬称略)

- 十月 一日 敬神講社理事会、評議員会
- 五日 加蘇地区神社氏子総代会(栃木県)
- 六日 武蔵菊花会展示会打合せ
- 六日 靖国神社崇敬奉賛会
- 九日 不二サッシ株式会社
- 十四日 古事記に親しむ会
- 十四日 武蔵菊花会菊作り研修会
- 十五日 敬神婦人会役員会
- 十七日 横浜八幡神社氏子総代会(神奈川県)
- 十八日 日本ボイラ協会埼玉支部
- 二十日 埼玉県伝統武術連盟
- 二十八日 会津若松市敬神婦人会(福島県)
- 三十日 平貝八雲神社(宮城県)
- 十一月 一日 交通安全対策会議
- 四日 祓ヶ崎稲荷神社(宮城県)
- 十日 武蔵菊花会表彰式打合せ会議
- 十日 参道対策会議
- 十一日 参道対策会議
- 十二日 野口大吉
- 十八日 大宮華道連盟
- 十九日 武蔵コーポレーション株式会社
- 二十四日 無双直伝英信流居合兵法阿字会
- 二十五日 猪苗代神社総代会
- 十二月 六日 ご利益一万倍くらぶ
- 七日 金田石城 毎日興業株式会社
- 七日 北澤楽天顕彰会
- 八日 正月助勤者説明会
- 十四日 氷川ほたるの会
- 十四日 武蔵菊花会表彰式
- 十四日 無外流日心会
- 十六日 責任役員会納会
- 十七日 氷川丸船長 金谷範夫
- 二十一日 立正佼成会大宮教会
- 二十一日 里神楽石山裕雅一門「雅の会」
- 二十二日 NPO法人子どもの夢T.O.S埼玉
- 二十二日 五色百人一首大会
- 二十二日 正月助勤者説明会
- 三十日 武蔵野銀行

日本書紀編纂一三〇〇年①

本年は古事記と共に記紀神話といわれる日本書紀が編纂されてから一三〇〇年になります。日本書紀は漢文で書かれ、三十巻から成り、最初の二巻が神代、以下の巻で持統天皇までの歴史を記す史書です。一つの物語として紡がれる古事記と違い、日本書紀では一つの事柄に対して「一書に曰はく」と、様々な伝承を伝えていきます。当社のおみくじは一番から五十番まであり、古事記や日本書紀の伝承から事象や神名などを題としております。かつては題に沿った内容でしたが、難解であったため、現在の記載に変更されております。運勢は全部で十三種類ありますが、はっきりとした優勢はつけておりません。内容をお読み頂き、今後の生活の指針とお考え下さい。各おみくじの文末には境内に祀られる神社や祭神の記載がありますので、御神徳を頂けるようお参り下さい。

第一番 渾沌兆

運勢 吉凶未分

は、万事物のはじめなれば、善悪共に心ながく時節の来るのを待つべし。ゆかないが、ゆくゆくあかるい方に

- 一、病氣、長いが快復します。
一、方角、北西の方よし。
一、待人、来ること遅し。
一、家造り、引越し よし。
一、縁談、よし。
一、旅行、よし。

日本書紀読み解き (複数の伝承を組み合わせた意訳です)

天地の成り立ちと神様の誕生 (一番から五番)

日本書紀ではまず、この世の成り立ちが描かれます。古くまだ陰陽が分かれていない時、混沌(一番)とした状態の中から澄んで陽かなものがたなびいて天に(二番)天先成、次に重く濁ったものが地となりました(三番)地後定。こうして天地が出来上がりました。そして最初の神として葦の若芽(四番)葦牙のような形の國常立尊が生まれました。それから次々に神が生まれ、伊弉諾尊・伊弉冉尊が生まれました。國常立尊から伊弉諾尊・伊弉冉尊までの神様を神世七代(五番)といっています。

神生み 国生み (六番から十番)

伊弉諾・伊弉冉は天上界から大海原に矛を指して、掻き混ぜて引き上げると矛の先から滴る潮が自基呂島(六番)という島になりました。そこに降り立ち、結婚して子を作ろう(七番)麻具波比)としますがうまくいきません。しかし、鶴鶴(八番)、セキレイの事が飛んで来て求愛する様子を見てその所作を知るのでした。そして伊弉諾から声をかけ求愛をして(九番)改言、まず本州を始めとした島を生み、次に海川山野の神様を生みました(十番)諸神生)。

伊弉諾尊と伊弉冉尊の死別 (十一番から十二番)

火の神を生んだ際に伊弉冉は大やけどを負い、死者の國へ行ってしまう。伊弉諾は伊弉冉を迎えに行きますが、すでに死者の國の食べ物を食べってしまった為、生前の美しい妻ではなくなっていました。恐れおののき逃げ出した伊弉諾は黄泉平坂(十二番)という所に千引石という巨石を置き互いの國を行き来出来なくしました。追いかけてきた伊弉冉は怒り狂い、「愛しい夫のあなたが、このような仕打ちをなさるのであれば、私はあなたの國の民の命を一日に千人奪います。」と言い、伊弉諾は「愛しい妻のあなたが、そうするのであれば、私は一日に千五百人の民が生まれるようにします。」と応え別れたのでした(十一番)千五百産屋)。

「平」の捉え方

おみくじを引いた方から「平ってなんですか？」という質問をされる事があります。平は文字通り、たいらな状態でこのまま運勢が上がるのを待つのがよいという事で吉でも凶でもない状態です。運勢がたいらな状態ですから御自身の行いによって、運氣が上がったり下がったりしますので慎重に行動する事が大事です。



令和2年の厄年(数元年)

数元年		前厄	本厄	後厄	数元年		前厄	本厄	後厄
男の厄	25才	平成9年	8年	7年	女の厄	19才	平成15年	14年	13年
男の大厄	42才	昭和55年	54年	53年	女の大厄	33才	昭和64年 平成元	63年	62年
男女厄	61才	昭和36年	35年	34年	女の小厄	37才	昭和60年	59年	58年

令和2年の方位除(数元年)

中央(八方除)			北			北東			南西		
大正	10年	100才	大正	14年	96才	昭和	2年	94才	大正	13年	97才
昭和	5年	91才	昭和	9年	87才		11年	85才	昭和	8年	88才
	14年	82才		18年	78才		20年	76才		17年	79才
	23年	73才		27年	69才		29年	67才		26年	70才
	32年	64才		36年	60才		38年	58才		35年	61才
	41年	55才		45年	51才		47年	49才		44年	52才
	50年	46才		54年	42才		56年	40才		53年	43才
59年	37才	63年	33才	平成	2年	31才	平成	62年	34才		
平成	5年	28才	平成		9年	24才		11年	22才	8年	25才
	14年	19才			18年	15才		20年	13才	17年	16才
	23年	10才			27年	6才		29年	4才	26年	7才

第十三号は四月十五日発行予定です



「神主さんと神社を学ぼう」に先行して西待合所にて県内神社の御朱印展を開催致します(3/1~4/5)

「神主さんと神社を学ぼう」
 日時 3月28日(土)
 詳細は埼玉県神社庁ホームページ参照
<http://www.saitama-jinjacho.or.jp/>



節分祭
 2月3日(月) 10時
 節分祭撒豆式
 12時半、2時、3時



婚礼展示会
 1月26日(日) 13時~16時
 呉竹荘にて
 予約不要・会費無料

発行 令和2年1月15日 発行所 氷川神社社務所
 写真協力 宮野信昭 中村写真館 印刷所 株式会社 秀飯舎
 さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-641-0137 <http://www.musashiichinomiya-hikawa.or.jp/>